

個人情報に記された書類の紛失について（第2報）

～紛失していた書類を職員自宅で発見しました～

公益社団法人神奈川県看護協会（以下、「県看護協会」という。）が運営する洋光台訪問看護ステーション（以下、「洋光台ST」という。所在地：横浜市磯子区洋光台3-11-23）において、訪問看護を利用されている方の氏名、疾病名等を含む個人情報が記載された書類を紛失したことについて、2024年5月24日に記者発表させていただきましたが、5月25日に、当該書類が職員の自宅で発見され、個人情報が外部に漏洩した事実がないことを確認しました。

このたびは、利用者をはじめ、関係者の皆様に多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に全力を挙げて取り組んでまいります。

1 書類発見日時

2024年5月25日（土） 7:00 ごろ

2 書類発見場所

洋光台STの訪問看護師の自宅内（書架に収納してあった）

3 書類に記載されている個人情報

- (1) 洋光台訪問看護ステーションにおいて、訪問看護を利用されている26名の方の氏名及びこの26名の内、18名の方の疾病名、生活の状況、家族構成等
- (2) 洋光台訪問看護ステーションに実習に来ている看護学生6名の氏名
- (3) 上記(2)の看護学生が在籍する看護学校の職員3名の苗字及び連絡先メールアドレス1件

4 経過（アンダーライン箇所が第2報で追記した部分）

○2024年5月9日（木）～15日（水）

A看護学校の「在宅看護論実習」の一環として、洋光台訪問看護ステーション（以下、「洋光台ST」という。）において、同校の学生2名を受入れ、訪問看護を行う利用者宅へ同行させる実習を行っていた。

○2024年5月15日（水）18:30

この実習の担当者であった洋光台STの訪問看護師Bは、この日で実習が終了したため、夕方、自らの実習指導が適切であったのかの振り返りをしようとしたが、終業時刻（17:45）が過ぎていたため、自宅で振り返り作業を行うため、次の関係資料をクリアファイルに入れて持ち出し

た。

【持ち出した資料】

- (1) A看護学校から郵送された打合せ資料（上記2(2)の看護学生6名の氏名及び2(3)の看護学校職員3名の苗字、連絡先メールアドレスが記されている）
- (2) 訪問看護利用者26名の氏名が記載された実習スケジュール（上記2(1)の個人情報）
- (3) 上記(2)の26名のうち、18名の氏名、生活の状況、家族構成等が記された書類（上記2(1)の個人情報）
- (4) A看護学校から送られてきた実習要項（個人情報なし）

○2024年5月15日（水）18:50 ごろ

訪問看護師Bは、洋光台S Tからの帰宅途中、洋光台駅前のスーパーマーケットにて買い物をした。その際、買ったものを持参した袋に詰める際に、クリアファイルに入った上記の持ち出し書類をいったん取り出した。その際、クリアファイルをその場に置き忘れた可能性がある。

○2024年5月15日（水）19:00 過ぎ

訪問看護師Bは、洋光台駅前からバスに乗り、自宅に到着。実習が終わってホッとしていたため、この日は看護実習の振り返り作業をせず、後日行おうと思った。

○2024年5月22日（水）夕方

訪問看護師Bは、次回（9/4～9/10）の看護学生の実習の担当となる訪問看護師Cが実習生の配置（どの学生をどの利用者の実習に割り当てるか）に悩んでいたため、5月の実習で自分が作成した資料を参考にしてもらおうと思い、夕方、職場内で書類を探したが見つからなかった。そこで、自宅に置いてあるかもしれないと思い、帰宅後探したが見つからなかった。

○2024年5月23日（木）

訪問看護師Bは、看護実習に係る個人情報の記載された書類を紛失したことを、洋光台S Tの所長Dに報告。

所長Dの指示の下、職員全員で洋光台S Tの事務所内をくまなく探すが見つからなかった。

訪問看護師Bは、5月15日に当該書類をクリアファイルに入れて持ち出したことを思い出し、当日の行動から、洋光台駅前のスーパーマーケットで、買い物途中に置き忘れた可能性があると感じ、同スーパーマーケットに尋ねたところ、「忘れ物はなかった」とのことだった。

○2024年5月24日（金）

8:30 ごろ、所長Dが県看護協会本部に、個人情報が記載された書類を紛失した旨を報告。

協会本部は、所長Dに対して、紛失した書類を発見するようさらに努力するとともに、落とし物として届けられていないか、警察やバス会社等にも照会するよう指示した。

併せて、県看護協会が運営する洋光台S Tも含めた4つの訪問看護ステーションの所長に対し、訪問看護の際、個人情報を持ち出さざるを得ない場合は、安全管理を徹底するとともに、自宅には絶対に持ち帰らないよう指示をした。

○2024年5月25日（土）

訪問看護師Bは、再度、自宅内を搜索していたところ、7:00頃、書架に紛失した書類が入っているクリアファイルを発見。紛失していたすべての書類がクリアファイル内にあることを確認。

○2024年5月27日（月）

県看護協会として、紛失した書類がすべて発見されたことを確認したことから、外部に個人情報の漏洩はなかったものと結論付けた。

また、改めて、訪問看護利用者等の関係者への説明・謝罪を行っていくとともに、再発防止策を講じていくことにした。

5 原因

- 県看護協会では、個人情報を適切に保護管理することを目的に、「個人情報保護に関する基本方針」や「個人情報管理規程」を定め、これらを基に個人情報保護に関する研修を実施してきましたが、その趣旨や内容が職員に未だ十分に徹底されていなかったことから、今回、訪問看護を利用される方の機微な情報を含む個人情報紛失事故を起こしてしまいました。

6 関係者への謝罪（アンダーライン箇所が第2報で追記した部分）

(1) 5月24日、書類を紛失したことについて、次のとおり謝罪した。

ア 訪問看護を利用されている26名の方への謝罪

- ➔ 2024年5月24日午後、県看護協会の役職員が、電話にて、ご本人またはご家族に対して、個人情報が記載された書類を紛失するという事故を起こした旨の第1報をご報告するとともに、謝罪を行った。

【利用者の方の声（例）】

- ・ どのような情報を紛失したのか？（事実の確認）
- ・ なぜ、自宅に持ち帰ったのか？（事実の確認）
- ・ 銀行情報は含まれていないのか？（事実の確認）
- ・ 今後は気を付けてほしい。

イ 看護学生6名及びA看護学校職員3名への謝罪

- ➔ 2024年5月24日、県看護協会の役員が、WEBを通じて、A看護学校の職員に対し、個人情報が記載された書類を紛失すると

いう事故を起こした旨の第1報をご報告するとともに、謝罪を行ったところ、学校側からはご了承をいただいた。

- ➡ また、学校からは、個人情報に紛失された学生に対する謝罪の方法について、今後、学校側で検討するとの話があったため、その結果を待って、県看護協会として対応していく。

(2) 5月27日、書類を発見し、情報漏洩がなかったことについて、次のとおり説明するとともに謝罪した。

ア 訪問看護を利用されている26名の方への謝罪

- ➡ 2024年5月27日午前、県看護協会の職員が、電話にて、19名のご本人またはご家族に対して、紛失していた個人情報が記載された書類を発見したこと及び個人情報の漏洩はなかったことを報告・説明するとともに、改めて謝罪を行ったところ、ご了承をいただいた。

【(利用者の方の声(例))】

- ・個人情報が外部に漏れなくてよかった。
- ・今後は気を付けてほしい。

- ➡ 5月27日午前の段階で連絡が付かない7名の方については、今後、洋光台S Tの訪問看護師が訪問した際に、説明及び謝罪を行っていくこととしている。

イ 看護学生6名及びA看護学校職員3名への謝罪

- ➡ 2024年5月27日、県看護協会の役員が、電話でA看護学校の職員に対し、紛失していた個人情報が記載された書類を発見したこと及び個人情報の漏洩はなかったことを報告・説明するとともに、改めて謝罪を行ったところ、学校側からはご了承をいただいた。
- ➡ また、学校からは、個人情報に紛失された学生に対する説明・報告や、県看護協会側から謝罪の表明があったことについては、学校側から各学生に伝えていくことにするため、県看護協会が各学生に対応することは不要である旨の話をいただいた。

7 再発防止策

- 県看護協会として、改めて全職員に対して、個人情報の保護・管理の重要性を再確認させるための研修を実施していく。
- また、個人の機微情報を含む個人情報は、原則として事務所内から持ち出さないこと、また、やむを得ず持ち出さなければならない場合には厳格な手続きを取っていくことなどを内容とした新たな規定を整備し、職員に周知徹底していく。

8 個人情報保護委員会への報告

- 今回、一時紛失し、職員自宅で発見された書類には、「個人情報の保護に関する法律」（第2条第3項）に規定する「要配慮個人情報」に該当する情報が含まれるため、今後、同法に基づき、個人情報保護委員会に報告してまいります。

問合せ先
公益社団法人神奈川県看護協会
専務理事 長場 直子
電話 045-263-2901（代表）